

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	看護学科2年課程 定時制(修業年限3年)		
実施方法	① 通学(昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)		
指定講座番号(15桁)	2110009	—	1810011 — 8
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 平成30年4月1日	過去一 年の講 座実績	入講者数(43人) 修了者数(37人)
令和9年3月31日			
訓練期間	36ヶ月	総訓練時間	時間
1. 教育訓練目標			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (看護師) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	厚生労働省の指定する養成施設又は文部科学省の指定する学校で保健師助産師看護師法に定められた要件を満たしていること		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	看護師免許を有することで従事できる医療・福祉施設での看護業		
2. 教育訓練の内容			
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名	
生命科学	30	医学書院/系統看護学講座 生物学	
人間関係論	30	医学書院/人間関係論	
家族論	30	なし	
心理学	30	有斐閣ストゥディア/対人援助と心のケアに活かす心理学	
国際社会	30	なし	
論理学	30	なし	
教育学	30	医学書院/系統看護学講座 教育学	
情報科学	30	看護情報科学技術評論社/今すぐ使える簡単Excel	
解剖学	30	系統看護学講座/解剖生理学	
生理学	30	メディカ出版/ナーシンググラフィカEX 疾患と看護6 眼 耳鼻咽喉 歯 口腔 皮膚	
生化学	15	ヌーベル—ヒロカワ/わかりやすい生化学	
栄養学	30	医学書院/系統看護学講座 栄養学	
疾病論	30	医学書院/系統看護学講座 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進 I・2	
疾病治療と診断学 I	30	メディカ出版/ナーシンググラフィカEX 疾患と看護5・7 脳・神経、	
疾病治療と診断学 II	30	メディカ出版/ナーシンググラフィカEX 疾患と看護1、2 循環器、呼吸器	
疾病治療と診断学 III	30	メディカ出版/ナーシンググラフィカEX 疾患と看護3、8 消化器、腎・泌尿器・内分泌・代謝	
疾病治療と診断学 IV	30	メディカ出版/ナーシンググラフィカEX 疾患と看護4、8 血液・アレ・膠原病・感染症・腎・泌尿器・内分泌・代謝	
疾病治療と診断学 V	30	メディカ出版/ナーシンググラフィカEX 疾患と看護9 女性生殖器 医学書院/系統看護学講座 母性看護学各論	
疾病治療と診断学 VI	15	医学書院/臨床放射線医学 ナーシンググラフィカ 成人看護学4 周手術期看護	
感染免疫学	30	医学書院/系統看護学講座 微生物 疾病の成り立ちと回復の促進4	
臨床薬理学	30	医学書院/系統看護学講座 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3	
公衆衛生学	30	ヌーベル—ヒロカワ/わかりやすい公衆衛生学	
社会福祉	30	医学書院/系統看護学講座 社会保障・社会福祉	
関係法規	15	ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障 看護をめぐる法と制度	

多職種連携と協働	30	なし
基礎看護学Ⅰ	30	メジカルフレンド社/新体系 看護学全書 基礎看護学1、4日本看護協会出版 科学的看護論
基礎看護学Ⅱ	30	メジカルフレンド社/新体系 看護学全書 基礎看護学2、4 基礎看護学技術Ⅰ 臨床看護学総論
基礎看護学Ⅲ	30	メジカルフレンド社/新体系 看護学全書 基礎看護学2、4 基礎看護学技術Ⅰ 臨床看護学総論
基礎看護学Ⅳ	45	メジカルフレンド社/新体系 看護学全書 基礎看護学2、4、基礎看護学技術Ⅰ 臨床看護学総論
基礎看護学Ⅴ	30	メジカルフレンド社/新体系 看護学全書 基礎看護学4、2 臨床看護学総論 基礎看護学技術Ⅰ
地域・在宅看護論Ⅰ	15	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア
地域・在宅看護論Ⅱ	15	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア
地域・在宅看護論Ⅲ	15	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア
地域・在宅看護論Ⅳ	30	メディカ出版/ナースンググラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術
地域・在宅看護論Ⅴ	30	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術
成人看護学Ⅰ	30	医学書院/系統看護学講座 成人看護学Ⅰ 成人看護学総論
成人看護学Ⅱ	30	メディカ出版/ナースング・グラフィカEX 疾患と看護Ⅰ、2、3、8 呼吸器、循環器、消化器、腎・泌尿器・内分泌・代謝
成人看護学Ⅲ	30	メディカ出版/ナースング・グラフィカEX 疾患と看護Ⅰ、2、3、8 呼吸器、循環器、消化器、腎・泌尿器・内分泌・代謝
老年看護学Ⅰ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 老年看護学 病態・疾病論
老年看護学Ⅱ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 老年看護学 病態・疾病論
老年看護学Ⅲ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 患往看護学 病態・疾病論
小児看護学Ⅰ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 小児看護学Ⅰ 小児看護学概論 小児臨床看護概論
小児看護学Ⅱ	45	医学書院/系統看護学講座 専門分野 小児看護学Ⅰ・Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論
小児看護学Ⅲ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 小児看護学Ⅰ・Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児臨床看護各論
母性看護学Ⅰ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 母性看護学Ⅰ 母性看護学概論
母性看護学Ⅱ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 母性看護学Ⅰ・Ⅱ 母性看護学総論 母性看護学各論
母性看護学Ⅲ	30	医学書院/系統看護学講座 専門分野 母性看護学Ⅰ・Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学各論
精神看護学Ⅰ	30	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本
精神看護学Ⅱ	30	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践
精神看護学Ⅲ	30	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 精神看護学①② 情緒発達と精神看護の基本 精神障害と看護の実践
看護の統合と実践Ⅰ	30	なし
看護の統合と実践Ⅱ	15	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理
看護の統合と実践Ⅲ	15	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全
看護の統合と実践Ⅳ	30	メディカ出版/ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護
看護の統合と実践Ⅴ	15	医学書院/系統看護学講座 別巻 看護研究 照林社/看護のためのわかりやすいケーススタディの考え方
看護の統合と実践Ⅵ	20	医学書院/系統看護学講座 別巻 看護研究 照林社/看護のためのわかりやすいケーススタディの考え方

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度で准看護師免許を有しているもの
③その他	

〔特記事項〕

--

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況					
① 前年度の修了者数	37	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	41	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	37	人	受験率(③/②)	90.2%	%
④ ③のうち合格者数	32	人	合格率(④/③)	86.5%	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	10	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	27	人			
			就職・在職率(⑤+⑥/②)	90.2%	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。
 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		37	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	7	人		
	2 非正社員、派遣社員	20	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	27	
	4 非就業	9	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	12	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	2	人		
	6 その他の効果	3	人		
	7 特に効果はない	7	人		25
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	2	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	1	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		4
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	9	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		9
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	12	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	12	人		
	3 どちらとも言えない	9	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		33

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 (通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	カリキュラムの進行に応じた試験を実施し、修得度を確認し履修状況を把握する。
---	---------------------------------------

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法																
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	各科目の単元の出席時間数が授業時間数の5分の4以上、また科目の試験の判定が60点以上とする。(学則第9条)															
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	科目の単元ごとの試験により評価を算出。希望者に対しては補強指導を行っている。															
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	厚生労働省の指定する養成所であるので、保健師助産師看護師法に定められた単元及び時間単を満たし、科目の単元の評価が「可」以上の者が終了とみなされる。(学則第10条)															
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	科目の単元の試験の判定が「優」「良」「可」「不可」で評価し、「可」以上を合格とする。															
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問等を随時受け付けて不明な点を解決する。また、授業録に学びの内容を記述し、分からないところは授業の講師に解答し補強する。															
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格取得関連情報の提供と習熟度に応じて強化し看護師国家試験に臨む。就職情報を掲示、就職相談等面談をしている。															
8. その他の事項																
指定教育訓練実施者名及び代表者名	一般社団法人岐阜市医師会 (代表者名: 林 力)															
住所及び連絡先	岐阜市青柳町五丁目4番地 TEL 058-255-1550															
施設名称及び施設長名	岐阜市医師会看護学校 (施設長: 林 力)															
住所及び連絡先	岐阜市青柳町五丁目3番地 TEL 058-251-0251															
苦情受付者	氏名 稗田 真里 所属 看護学校	事務担当者	氏名 浅野 未紗 所属 看護学校													
連絡先	TEL 058-251-0251	連絡先	TEL 058-251-0251													
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,550,000 円													
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000 円													
	② 分割払 ③ 両方可	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>第1期</td><td style="text-align: right;">225,000 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td style="text-align: right;">225,000 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td style="text-align: right;">225,000 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td style="text-align: right;">225,000 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td style="text-align: right;">225,000 円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td style="text-align: right;">225,000 円</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">(うち、必須教材費 0 円)</td></tr> </table>	第1期	225,000 円	第2期	225,000 円	第3期	225,000 円	第4期	225,000 円	第5期	225,000 円	第6期	225,000 円	(うち、必須教材費 0 円)
第1期	225,000 円															
第2期	225,000 円															
第3期	225,000 円															
第4期	225,000 円															
第5期	225,000 円															
第6期	225,000 円															
(うち、必須教材費 0 円)																
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		180,000 円													
	① 任意の教材費 (税込額)		0 円													
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		0 円													
	③ 施設維持費 (税込額)		180,000 円													
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		0 円													
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,730,000 円													